

薬物のない学生生活のために

～薬物の危険は意外なほど身近に迫っています～

脱法ドラッグ



覚醒剤、麻薬、大麻等と同様の危険性が指摘されている薬物。

MDMA



知覚を変化させる。大量に摂取すると高体温になり、死に至る。

ヘロイン



皮膚が鳥肌立ち、全身の強烈な痛みと痙攣におそわれる（禁断症状）。大量に摂取すると死に至る。

コカイン



幻覚や妄想が現れる。大量に摂取すると全身痙攣を起こすほか、死に至る。

幻覚性きのこ (いわゆるマジックマッシュルーム)



幻覚を引き起こすこともあるが、呼吸困難を起こすことが多い。大量に摂取すると死に至る。

大 麻



知覚を変化させるが、恐慌状態(いわゆるパニック)を引き起こすこともある。乱用を続けると、勉強に支障をきたすだけでなく、記憶障害、人格変化を起こす。

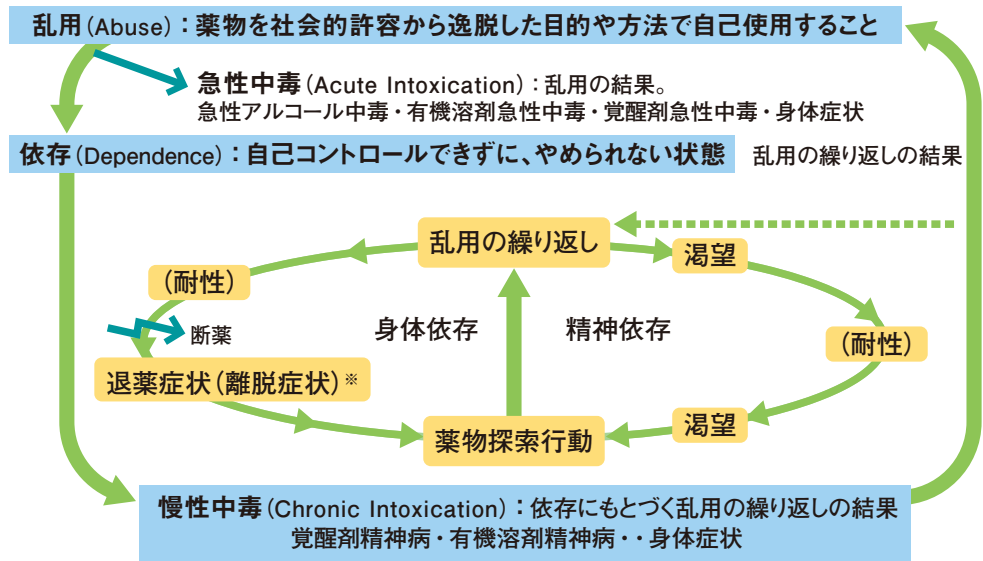
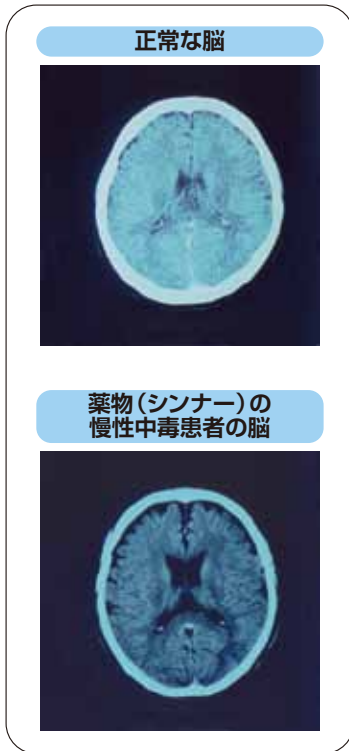
覚 醒 剤



幻覚や妄想が現れ、中毒性精神病になりやすい。使用をやめても再燃(フラッシュバック)することがある。大量に摂取すると死に至る。

薬物は人生をこわす!

薬物乱用の最大の怖さは、 依存です!



※いわゆる禁断症状

一度薬物依存症になってしまった脳は、 元の状態に戻らないと考えられています。

軽い気持ちから、人生が… (薬物乱用経験のある元大学生の手記より)

大切にかけがえのない家族との絆を揺るがした僕の大麻問題は10年前に遡ります。ハワイではどこでも大麻が身近な環境だった。幾度となく誘われても「俺は今ままで充分」と言って別に興味も無かった。でも仲の良かった友達が日本に帰ってしまって、寂しさからか、毎日が充実しなくなってきて、誘われるがまま大麻を初めて吸った。そしてばっちりハマった。日本に帰る頃には大麻を肯定する立派な依存症者になっていた。実家には戻らず、たまに大麻を吸ったり、幻覚キノコなどで遊んでいた。初めて吸った覚醒剤で一気に壊れた。“誰かが殺しに来る”。完全に精神が壊れていた。最終的には、店の金庫から500万円近い現金を盗みハワイに行った。飛行機のトイレで大麻を吸ったり、ポリスに至近距離で銃口を向けられたり、当然お金がなくなり浮浪者になって万引きしてつかまり留置されたり……。今でも鮮明に覚えているが、関西国際空港のゲートを出たときに見た家族の、悲しみと混乱の入り混じった顔を僕は忘れる事はないだろう。自由気ままに生きてきて、かけがえのないものを傷つけ、たった一度の人生を幸せに生きる責任も放棄していた。最後に……。父の言葉を思い出す。「大麻がいかに良くても、大麻が無くても幸福に生きていけるのだから、そういう生き方をしてほしい」。今後はそんな生き方をしていきたいと思います。